

# インドネシアにおける地域住民を巻き込んだ熱帯泥炭地保全と再生及び日本での啓発活動を通じた気候変動対策

〒530-0015  
大阪府大阪市北区中崎西1-6-36  
サクラビル新館308  
「関西市民連合」内  
<http://hutangroup.org/>



ひろげる助成

1年目

実践



泥炭地再生の先進地で消火用井戸を掘る住民

植林地域の広さ **7ヘクタール**

学習会・講演会の参加者数 **172人**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する達成度 **30%**

## 課題

インドネシアのボルネオ島等に広がる熱帯泥炭地は開発や森林火災で莫大な温室効果ガスを排出する。保全と再生対策を可及的速やかに行うとともに啓発活動を進める必要がある。

## 目標

熱帯泥炭地の特性・開発問題・保全再生対策等の調査や先進地視察を行い、NGO・地域住民とともに熱帯泥炭地保全・再生策を実行し、同時に日本の消費者や企業等を啓発する。

## 活動内容と成果

●文献調査及びNGOやスンガイ・ブトゥリ地区の信用組合・村長へヒアリングを実施し、課題を把握した。●スンガイ・トホール村にて熱帯泥炭地保全、プラン・ピンウ県にて熱帯泥炭地再生の先進事例を視察した。●タンジュ

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

熱帯泥炭地の保全策や再生すべき場所と地域住民のニーズが必ずしもマッチしない可能性があることがわかった。

### ■ 工夫した点

地域住民と話し合いを重ねて植林地を選び、将来的に熱帯泥炭地保全の主体となることが期待される地域の青年団に植林を委託した。



ン・プティン地区にて村の青年団と7ヘクタールの植林を実施した。●日本で熱帯泥炭地に関するヒアリングや情報収集を計6回行った。●パーム油学習会を3回、海外ゲスト講演会を1回行い、計172人が参加した。●映像作家とインドネシアに赴き、映像素材を集めた。●生協へアンケートを実施した。



## 今後の展望

インドネシアでのヒアリングや先進地視察、日本での情報収集、学習会・講演会で熱帯泥炭地保全・再生のヒントを得たので、今後地域住民と実施する方法を考えたい。日本でも関心の芽はあり、効果的な啓発をめざす。